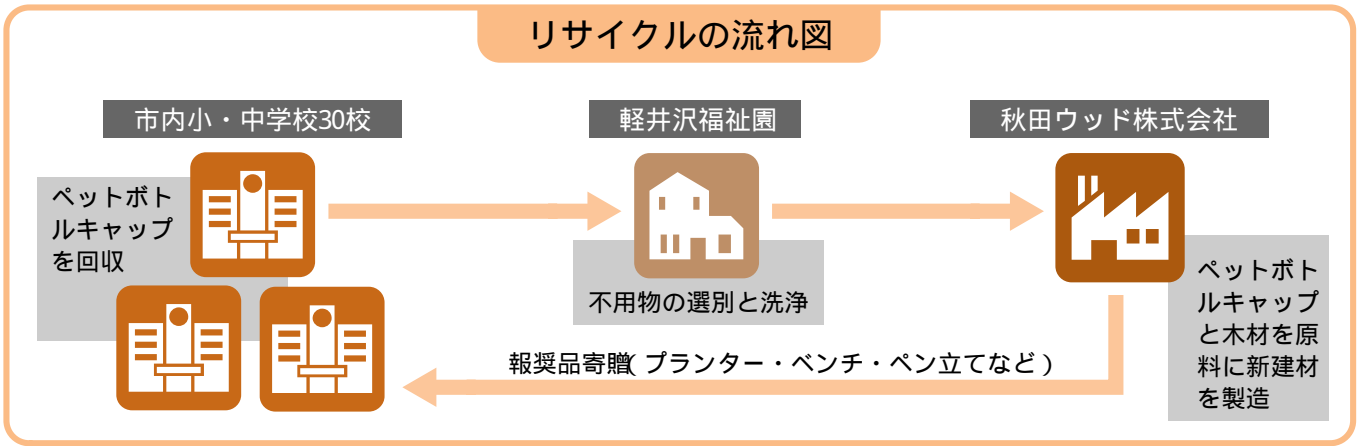


リサイクルの流れ図



分別を行っていました。

学校には市環境課から配布された回収袋が設置されていて、子供たちはそれぞれ家から持ってきたキャップを入れています。市では2〜3カ月ごとに回収に来るので、それまでにビニール袋にひとまとめにしているそうです。

環境を考える第1歩
リサイクル委員会で
回収運動

— 城南小学校 —



中嶋 俊彦校長

学校通信 わが城南で、リサイクル運動をPRしている中嶋俊彦校長にお話を聞きました。

地域と連携した活動

学校通信 わが城南で、リサイクル運動をPRしている中嶋俊彦校長にお話を聞きました。



米澤 貴子先生

環境を考える気持ち

委員会担当の米澤貴子先生にお聞きしました。

子供たちの環境に対する意識は変わりましたか。

最近ですが、古い紙も大切なんだとか再生紙の裏も使えるよという声も出てきました。すぐ捨てるのではなく使えるものは使う、再利用してゴミを減らすという意識が出てきたんでしょうね。と同時に、お家の方々の関心も高くなったと思います。

夏休み明けに、学級対抗の回収運動があり、みんなたくさん持ってきてくれました。この前、秋田ウッドからご褒美にプリンターをもらったんですが、頑張ってるので今度はみんなが安らげるようなベンチを目標としたいですね。

各家庭などでも、リサイクルの意識が大分浸透してきましたね。リサイクルが、家族でも話題に上がるそうです。スーパリーのレジ袋でも、マイバックでの買い物姿も多くなりましたし。このような取り組みは、地球温暖化の影響を教えていくうえで大変有意義なことだと思います。

また、学校と地域の連携を強めるためにも、子供会を中心に、町内ぐるみの活動としてやっていけるようになって欲しいです。

最近ですが、古い紙も大切なんだとか再生紙の裏も使えるよという声も出てきました。すぐ捨てるのではなく使えるものは使う、再利用してゴミを減らすという意識が出てきたんでしょうね。と同時に、お家の方々の関心も高くなったと思います。

夏休み明けに、学級対抗の回収運動があり、みんなたくさん持ってきてくれました。この前、秋田ウッドからご褒美にプリンターをもらったんですが、頑張ってるので今度はみんなが安らげるようなベンチを目標としたいですね。



子供たちが学校生活の中で生き生きと取り組む姿勢に、物の大切さや、まだ何かに使えるという意識が高まってきたことを感じ取りました。

次は、回収されたペットボトルキャップが運ばれる軽井沢福祉園に行ってみます。

委員会は月2回あって、23人の委員で手分けしてキャップ、ベルマーク、アルミの分別をしています。ごみが増えると地球を壊すことになるので、環境が良くなるようリサイクル活動を進めていきたいと思っています。

リサイクル委員会 委員長
ごうだ りゅうき
合田 瑠希くん(6年)

みんなで頑張って集めました